2026年10月28日

各位

会社名　シンバイオ製薬株式会社
代表者名　代表取締役社長兼CEO　吉田　文紀
（コード番号：4582）
問合せ先　IR室（TEL.03-5472-1125）

多発性硬化症を対象としたブリンシドホビル（BCV）プログラムのグローバルパートナーシップ活動を開始

シンバイオ製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼CEO：吉田 文紀、以下「シンバイオ製薬」）は、多発性硬化症（MS）を対象としたブリンシドホビル（以下「BCV」）のプログラムについて、2026年3月30日付リリースで発表した、米国国立衛生研究所（NIH）傘下の米国国立神経疾患・脳卒中研究所（NINDS）との共同研究が順調に進んでいることを受け、さらなる開発および商業化への体制を整えるため、本プログラムのグローバルパートナーシップ締結に向けた活動を開始したことをお知らせします。

エプスタイン・バーウイルス（EBV）は、MSの発症及び症状発現の重要なリスク要因と考えられており、BCVはEBVに対して高い抗ウイルス活性を有し、再活性化したEBVの活性を強く抑制することがNIH/NINDSとの共同研究により確認されています。本研究は、学術誌『Journal of Clinical Investigation』に論文として公表されました。NIH/NINDSによる前臨床試験は近く最終フェーズに入り、ヒト試験への移行が期待されることから、MS治療の有力企業の一つと提携することで、BCVの開発を着実に進めていきます。

世界におけるMS患者数はおよそ300万人と推定されますが、近年増加傾向にあり、潜在的患者はさらに多いと考えられています。現在使われている治療は抗CD20抗体やＢ細胞枯渇薬などですが、根本原因に働きかける治療法が求められています。BCVの作用機序は、Ｂ細胞内にひそむEBVを直接標的とし、EBV陰性のB細胞には作用しないことから、免疫の維持に必要なＢ細胞への影響を押さえることにより現行治療とは異なる新たなメカニズムを志向するものです。

シンバイオ製薬 代表取締役社長兼CEO 吉田文紀のコメント：
「MSの主要なリスクファクターと考えられているEBVを直接標的とすることで、より安全で効果的な治療選択肢の提供を目指します。NIHとの共同研究開発契約（CRADA）に基づいて得られた成果である科学的裏付けを活かして戦略的提携を進めてまいります。」

なお、本パートナリング活動は、MTS Health Partnersを戦略・財務アドバイザーとして進めております。

本件による2026年12月期の連結業績見通しへの影響はありません。

SymBio
シンバイオ製薬株式会社

注記

関連プレスリリース
2026年3月30日付：多発性硬化症を対象としてNIH/NINDSとのBCV共同研究開発契約（CRADA）を3年間延長
2026年9月24日付：多発性硬化症の独占的グローバルライセンスを取得

１）MSとその治療

MS は中枢神経系(大脳、視神経、小脳、脊髄など)の髄鞘（神経の鞘）を自己免疫的機序で破壊する神経変性疾患です。MS の患者は全世界に約 300 万人いると推定されており、その市場規模は、3 兆円を超すものと推定されます。

２）EBV と MS の関係および当社の取り組み

2022年1月、米国の有力な科学誌「Science」に、ハーバード大学研究チームからEBV感染がMSの発症リスクを高めるという発見に関して、長期に遡る疫学調査の結果が発表されました。さらに同月、スタンフォード大学からは、欧州の有力な科学誌「Nature」に、EBV の一部が神経系の構造と似た部分を持っているため、免疫系が誤って自分自身の神経細胞を攻撃し、さまざまな症状を引き起こすという発症メカニズムが報告されました。

これらの発見を基にシンバイオ製薬は、NIHと2023年3月に共同研究開発契約（CRADA）を締結し、EBV を標的とした新規治療法の開発に向けた共同研究を行ってまいりました。本共同研究では、BCV は再活性化した EBV を強く抑制することが確認され、2025年11月に論文として公表しております（2026年1月 e 収載）。現在、サルを用いた動物実験を進めており、臨床試験に向けて2026年3月にCRADAを3年間延長しました。また、2026年9月、NIHとの間でMSの治療薬および予防薬として、BCVを開発するための技術に関する独占的グローバルライセンスを取得しました。

３）MTS Health Partnersについて

MTS Health Partnersは、あらゆる規模のヘルスケア企業に対し、顧客の利益に即した戦略・財務アドバイザリーサービスを提供するヘルスケア専門の投資銀行です。グローバル企業からスタートアップ企業まで、幅広い顧客を対象に、ライフサイエンスおよびヘルスケアサービス分野におけるM&A、資金調達、戦略的事業再編について、高度な専門知識に基づくアドバイスを提供しています。

シンバイオ製薬について：３本の治療領域を柱としたBCVの事業戦略

シンバイオ製薬は2019年9月、BCVのグローバルライセンスを取得して以来、３つの治療領域（二本鎖DNAウイルス感染症、固形がん、神経変性疾患）において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として各治療領域の世界最高峰の研究機関と共同研究を進めてきまし

た。それぞれ、造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症、進行性多巣性白質脳症（PML）、悪性脳腫瘍（グリオブラストーマ）、頭頸部がん、EBV 関連胃がんを中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることにより BCV の事業価値の最大化を目指しています。